

名鉄広見線活性化への取り組みについて

1. 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会の設置

平成 21 年度末で名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）対策協議会を解散し、平成 22 年 4 月 1 日付けで、名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会を設立しました。

今後は、活性化協議会において、名鉄広見線活性化計画への取り組みを進めていきます。

2. 名鉄広見線活性化計画の目標

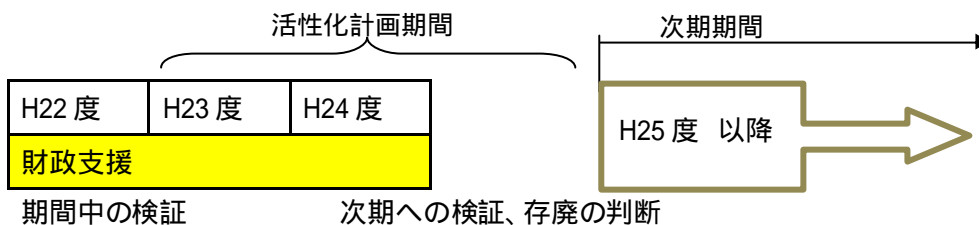
1) 活性化の基本的考え方

利用促進策を展開し、輸送人員の段階的な増加を図り、収支改善を進める。

活性化計画の期間 平成 22 年度から平成 24 年度までの 3 年間

計画期間では、利用者の減少に歯止めをかけて増加に転じさせる。

また、この間の利用者数の推移や収支の状況、取り巻く環境変化などについて総合的に評価を行い、存廃の判断を含む平成 25 年度以降の対応について協議する。



2) 利用者増加目標数値

目標期間（平成 22 年度～平成 24 年度）の利用者目標数値について

平成 22 年度から関係者それぞれが主体的に連携を図りながら利用促進等を実施する。これにより平成 24 年度には、年間輸送人員の目標を 1,111 千人とする。

ただし、通学定期については、あらたな利用者増は見込まず、底打ち感も見られ、平成 21 年度以降、横ばいに推移するものとした。

- ・通勤定期：3 年間で新たに 58 千人増やす。
- ・定期外：3 年間で新たに 62 千人増やす。

< 利用者増加策を行わず、現状のまま推移した場合 >

年 度	
輸送人員 (千人/年)	通 勤
	通 学
	定期外
	合 計

H22	H23	H24
279	276	273
536	514	493
181	170	160
996	960	926

促進策展開

< 目標数値（単位：千人） >

H22	H23	H24
308	327	331
558	558	558
216	221	222
1,082	1,106	1,111

2 名鉄広見線利用促進平成 22 年度実施計画

目標を達成するための施策

利用促進策の展開

名鉄広見線対策協議会に参画する団体・組織をはじめとする関係者が、主体的に、また連携を図りながら利用促進策に取り組む。

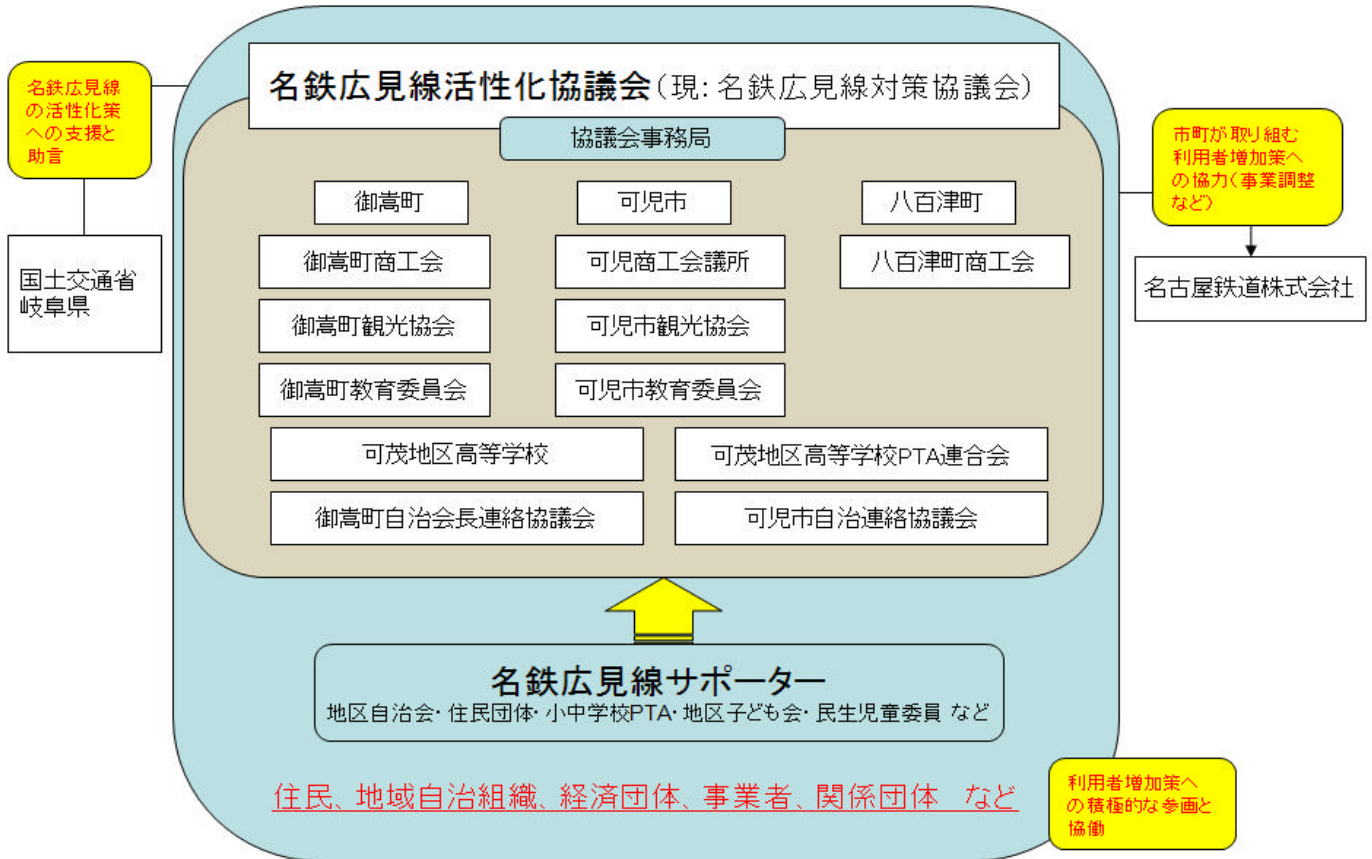
表 名鉄広見線の活性化に向けた施策メニュー

施策の方向	施策の区分	具体的な施策メニュー（例）
1．学校教育関係の組織を主体とする利用促進策	1) 遠足、社会見学等における利用促進	● 学校行事での利用促進
	2) 学生・生徒による活性化	● 学生・高校生中心とする利用促進
2．経済団体(商工会・商工会議所、観光協会等)を主体とする利用促進策	1) まちづくり等との連携	既存のまちづくりイベントや催し物との連携による利用促進 ● 御嵩町産業祭 ● みたけの森ささゆりまつり
		新たなまちづくりイベントや催し物との連携による利用促進 ● ハイキング・ウォーキング(名勝・旧跡めぐり) ● 観光バスツアー ● スタンプラリー ● イベント企画提案事業
	2) 広見線そのものの魅力の向上施策の展開による利用促進	駅周辺における交流拠点整備 ● 御嵩駅周辺賑わい創出 ● 駅・列車を用いたイベント ● 名産品等のグッズ販売 ● 広見線利用が特典となる仕組み
3．移動環境の整備による利用促進		乗り継ぎ機能の強化 ● パークアンドライド用駐車場の充実・利用促進 ● サイクルアンドライド用駐輪場の利用促進 ● 運行時刻や乗り継ぎ情報、周辺施設情報等の提供 駅アクセス利便性の向上 ● シャトルバス等の運行 ● レンタサイクルの実施
4．住民団体・サポーター制度		● 組織づくり ● 支援拠点の設置、充実
5．通勤等での利用促進		● 通勤時、出張時の利用促進
6．意識啓発		● ワークショップ等による意識啓発 ● モビリティ・マネジメントの実施

計画の推進体制

本計画は、名鉄広見線活性化協議会を中心に、以下に示す経済団体、各種団体及び地域住民、交通事業者が一体となって具体的利用促進策を実施するものとする。

図 名鉄広見線利用促進推進体制図



<期待される役割>

主体	期待される役割
住民、地域自治組織、経済団体、事業者、関係団体 など	現在又は将来において、公共交通を利用する主体であり、かつ自ら公共交通を支える主体としての意識を持って、直接・間接に受益者として利用者増加策に積極的な参画と協働を行う。
行政	住民の生活を支えるべき基礎自治体として、住民の移動手段を確保するため、名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の維持存続に努め、住民など関係者とともに名古屋鉄道と連携を図り、利用者増加策に取り組む。
国・岐阜県	名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の利用者増加策への支援と助言を行う。
名古屋鉄道株式会社	公共交通サービスの直接の供給者であり、市町が取り組む利用者増加策の具体化に向けた事業調整に参画するなど可能な範囲で協力する。

実施計画について

1. 学校教育関係の組織を主体とする利用促進事業

1) 遠足、社会見学等における利用

H22年度 目標利用者数	3,650人	事業費	758千円		
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
電車を活用した学校等行事	保育園・幼稚園・小学校・中学校など	・園外活動や校外活動に、電車を使った活動として実施し、公共交通を通じた社会性を育む。 ・沿線地域外の学校遠足招致資料作成と紹介	・運賃補助(4割) ・啓発用チラシ ・学生等旅費 事業費 504千円	広見線利用者数	
可児市文化創造センター中学校音楽会	中学校	・御嵩町内中学校の学校行事の音楽会を可児市の施設で行い、広見線利用者増加に寄与する。	・運賃補助(4割) ・会場使用料補助 事業費 254千円	広見線利用者数	
交通環境学習カリキュラムの導入	小学校	・日常の生活や行動が環境問題や交通問題の解決に貢献できるという喜びを実感することを目標として、「交通・環境学習」を実施する。	御嵩町予算	対象児童の意識	

2) 児童・生徒などによる活性化

H22年度 目標利用者数	2,190人	事業費	215千円		
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
保育園や小学校による駅七夕飾りや作品掲示	保育園、幼稚園、小学校	・園児や児童の駅飾り等を実施し、電車への関心を園児や児童の頃から育む。	材料代 など 事業費 50千円	広見線利用者等の意識	
学生・生徒による駅舎美化活動	高校生、大学生	・御嵩口、顔戸、明智各駅美化(ペンキ塗装)によるマイルール意識の向上と意識啓発	材料代 など 事業費 65千円	広見線利用者等の意識	
利用者カウント機器製作・設置	高校生	・高校生の学校活動として、駅乗降客数をリアルタイムで測るための簡易な機器を作成し、利用状況を駅等に表示する。	機器等製作費 など 事業費 100千円		
高校生等の視点による情報をまとめ記事として掲載	高校生等	・高校生や地域住民、これから利用する中学生などの声、沿線いいこと探し(自然、お店など)など協議会事務局が発行するニュースレターの一部として記事掲載を担う。	ニュースレター製作、発行費(13ページ参照)	沿線住民等の意識	

2. 経済団体（商工会・商工会議所、観光協会等）を主体とする利用促進事業

1) まちづくり等との連携

既存のまちづくりイベントや催し物との連携

H22年度 目標利用者数	450人	事業費	-	利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標
				・御嵩町産業祭 ・中山道御嶽宿往来 ・よってりゃあみたけ夏まつり ・可児夏まつり ・みたけの森ささゆりまつり など	商工会・商工会議所、観光協会等	・資源を活かし、活性化に向けて実施している既存のイベントを広見線利用者へ結びつける。	イベントおもてなし事業費（12ページ参照）	広見線利用者数

新たなまちづくりイベントや催し物との連携

H22年度 目標利用者数	4,200人	事業費	540千円	利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標
				地域資源発掘とバスツアープランニング事業	・商工会・商工会議所、観光協会等 ・大学生	・経済団体や学生などにより地域の史跡、商店などを活かした沿線駅発着バスツアーのプランを作り、観光事業者等にPRする。	学生等旅費 チラシ印刷代 など 事業費 150千円	広見線利用者数
				地域資源発掘とウォーキングコースプランニング事業	・商工会・商工会議所、観光協会等 ・大学生	・経済団体や学生などにより中山道など地域の資源を活かした沿線駅発着ウォーキングコースのプランを作り、近隣市町村を含め広くPRする。	学生等旅費 チラシ印刷代 など 事業費 162千円	広見線利用者数
				駅弁等おもてなし料理コンテスト	・活性化協議会 ・商工会・商工会議所、観光協会等	・観光客など来訪者へのおもてなしのため、地域資源を活かした駅弁コンテストを実施し、商品化に向けた検討を行う。	報償費 チラシ印刷代 など 事業費 128千円	コンテスト参加者数

<p>企画提案型利用 促進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化協議会 ・御高町 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広見線を利用する住民交流事業を募集し、事業経費を助成する。 ・ 都市部をはじめとする圏域内外の住民、事業者、団体から広見線等の活性化策や利用促進策を公募し、運営委託をする。 	<p>事業費助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 100 千円 ・ その他御高町予算 	<p style="text-align: right;">さ</p> <p>広見線利用者数</p>
-------------------------	---	---	---	--

駅周辺における交流

H22年度 目標利用者数	100人	事業費	90千円	利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標
さんさん広場活用 交流事業	・商工会、商工会 議所	“宿の市（朝市）”を行う御嵩 駅南にある「さんさん広場」で 沿線地域のお店の出店の斡旋・ 支援を行う。	会場使用料助成 など 事業費 90千円	広見線利 用者数				
わいわい館活用交 流事業	・観光協会、御嵩 町	御嵩駅前御嶽宿街道沿いに ある交流施設「わいわい館」で 特産品販売等おもてなしやミ ニイベント等による来訪者機 会創出の場をつくる。	御嵩町予算	広見線利 用者数				

2) 広見線の魅力の向上施策の展開による利用促進事業

H22年度 目標利用者数	4,010人	事業費	1,298千円	利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標
名鉄広見線写真コ ンテスト	観光協会	広見線沿線風景の写真コンテ ストを実施する。	報償費 グッズ化等経費 など 事業費 200千円	参加者数				
啓発グッズ作成支 援事業	住民団体	住民団体のアイデアを活用 した広見線利用啓発グッズの 検討、作成	材料費助成 グッズ(既存含む)のイ ベント時配布 など 事業費 466千円	広見線利 用者等意 識				
名鉄広見線利用者 商店連携事業	商工会、商工会議 所等	広見線利用者と協力商店のサ ービスを連携させる。	・パンフレット印刷代 ・スタンプ台 など 事業費 250千円	特典利用 者数				
団体利用運賃助成 事業	活性化協議会	・10名以上の御嵩町、可児市、 八百津町に居住する者で構成 する団体が、新可児駅～御嵩駅 間で乗車又は降車する場合に 上記区間の運賃を助成する。	・運賃助成（3割） ・消耗品 など 事業費 266千円	運賃助成 利用者数				
名鉄広見線利用者 スタンプ活用事業	活性化協議会	・広見線利用者が押せるスタン プ台を駅に設置し、イベント時 等の優待・特典につなげる。	・パンフレット印刷代 ・スタンプ台 など 事業費 116千円	優待・特典 利用者数				

3 移動環境の整備による利用促進事業

乗り継ぎ機能の強化

H22年度 目標利用者数	7,300人	事業費	173千円		
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
御嵩駅駐車場等の 充実・利用促進事業	御嵩町	・パーク＆ライド用駐車場、サイクル＆ライド用駐輪場の整備	御嵩町予算	駐車場・駐輪場の利用者数	
パーク＆ライド用 駐車場、サイクル＆ ライド用駐輪場利用 紹介事業	活性化協議会	・利用可能場所、利用形態（無料・月極め・日利用）、利用状況などの案内を行い、利用を促す。	啓発用チラシ印刷代 ほか 事業費 30千円	駐車場・駐輪場の利用者数	
・運行時刻や他の交通手段の乗り継ぎ時刻情報等の作成 ・駅周辺施設情報マップ等の作成	・観光協会 ・大学生	・路線図、時刻表、駅周辺情報マップ作成のための調査、ヒアリングの実施 ・名鉄御嵩駅～新可児駅と他路線、JRとの乗り継ぎ時刻表作成 ・駅周辺施設情報の掲載	・学生旅費 ・掲示用パネル ・案内用チラシ印刷 など 事業費 143千円	広見線利用者意識	
可児駅周辺整備事業	可児市	・可児駅前広場、駐輪場の整備	可児市予算		

駅アクセス利便性の向上

H22年度 目標利用者数	36,100人	事業費	33千円		
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
みたけ E-CO(エコ) バス運行事業	御嵩町	・みたけ工業団地や住宅団地にみたけ E-COバスを走らせ、御嵩駅や御嵩口駅の駅端末交通を確保し、通勤時等の交通行動の変容を促す。	御嵩町予算	みたけ E-COバス利用者数	
レンタサイクル事業	・観光協会 ・大学生	・御嵩駅のレンタサイクルによるサイクリングコースの調査・設定 ・乗り継ぎや周辺施設情報マップへの掲載	・学生旅費 ・案内チラシ など 事業費 33千円	レンタサイクル利用者数のうち広見線利用者数	

4 住民団体・サポーター事業

H22年度 目標利用者数	2,190人	事業費	500千円		
利用促進事業	実施主体	実施内容		事業費内訳	フォローアップ指標
サポーターおもてなし事業	沿線住民、団体	沿線の個人、団体などによる ・イベント時のおもてなしの取り組みへの助成 ・日常的なおもてなしの取り組みへの助成		・イベントおもてなし助成 ・おもてなし企画提案助成 事業費 450千円	・広見線利用者等意識 ・イベント参加者のうち広見線利用者数 ・おもてなし参加者数
サポーター連携事業	活性化協議会	・活動メニューを用意し、参加の機会を提供する。 (アダプトプログラム) ・自発的なサポーター活動の相談、活動団体との相互連携・交流の支援		清掃等材料費 など 事業費 50千円	広見線利用者等意識

アダプトプログラムとは、住民、団体、企業などが、公共場所（駅・公園など）の美化の管理を継続的に受け持つ制度で、自分たちが暮らす地域（駅）への愛着や、高い美化意識が原動力となる清掃ボランティア活動です。

5 通勤等での利用促進事業

H22年度 目標利用者数	3,650人	事業費	250千円		
利用促進事業	実施主体	実施内容		事業費内訳	フォローアップ指標
電車通勤モニター事業	事業所	・事業所に従業員の電車通勤モニターを依頼し、広見線を利用した電車通勤への課題調査を行うとともに、電車通勤への動機付けと意識啓発を行う。 ・新たな駅アクセス手段を検討する。		・モニター通勤費助成など 事業費用 250千円	モニター意識

6 意識啓発事業

H22年度 目標利用者数	-	事業費	1,757千円		
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
意識啓発事業	活性化協議会	・鉄道シンポジウムを開催し、意識啓発、マイレール意識向上を図る。	・シンポジウム、パネル展示 ・有識者報償費 事業費 345千円	参加者意識	
沿線住民電車利用モニター事業	活性化協議会	・沿線住民の方から電車利用モニターを募集し、マイカーから名鉄広見線に交通手段をシフトするための課題調査を行うとともに、広見線利用の動機付けと意識啓発を行う。	・モニター電車利用助成 など 事業費 145千円	モニター意識	
情報発信事業	活性化協議会	・利用促進に関する取り組みをできるだけ「見える化」とするためにニュースレターを発行する。(毎月1回程度) ・活性化協議会のホームページを作り、情報発信する。	・ニュースレター印刷代 8,000部・12回/年 ・郵送料 ・アドバイザー報償費 など 事業費 997千円	沿線住民等の意識	
モビリティ・マネジメント事業	活性化協議会	・マイカーから電車へ交通移動手段の変容のための動機づけ資料や危機意識を促す資料の作成、配布	・チラシ印刷代 ・有識者報償費 など 事業費 270千円	参加者意識	

実施計画総括表

実施計画内容	事業費(千円)	H22年度 目標利用者数
1. 学校教育関係の組織を主体とする利用促進策		
1) 遠足、社会見学等における利用		
電車を活用した学校等行事	504	3,650人
可児市文化創造センター中学校音楽会	254	
交通環境学習カリキュラムの導入	-	
小計	758	
2) 児童・生徒による活性化		
保育園や小学校による駅七夕飾りや作品掲示	50	2,190人
学生・生徒による駅舎美化活動	65	
利用者カウンタ機器製作・設置	100	
高校生等の視点による情報をまとめ記事として掲載	-	
小計	215	
計	973	
2. 経済団体(商工会・商工会議所、観光協会等)を主体とする利用促進事業		
1) まちづくり等との連携		
既存のまちづくりイベントや催し物との連携	-	450人
新たなまちづくりイベントや催し物との連携		4,200人
地域資源発掘とバスツアープランニング事業	150	
地域資源発掘とウォーキングコースプランニング事業	162	
駅弁等おもてなし料理コンテスト	128	
企画提案型利用促進事業	100	
小計	540	
駅周辺における交流		100人
さんさん広場活用交流事業	90	
わいわい館活用交流事業	-	
小計	90	
2) 広見線の魅力の向上施策の展開による利用促進事業		
名鉄広見線写真コンテスト	200	4,010人
啓発グッズ作成支援事業	466	
名鉄広見線利用者商店連携事業	250	
団体利用運賃助成事業	266	

	名鉄広見線利用者スタンプ活用事業	116		
	小計	1,298		
	計		1,928	
3	移動環境の整備による利用促進事業			
	乗り継ぎ機能の強化			
	御嵩駅駐車場等の充実・利用促進事業	-		7,300 人
	パーク&ライト用駐車場、サイクル&ライト用駐輪場利用紹介事業	30		
	運行時刻や他の交通手段の乗り継ぎ時刻情報等の作成・周辺施設情報マップ等の作成	143		
	小計	173		
	駅アクセス利便性の向上			
	みたけE-CO(エコ)バス運行事業	-		36,100 人
	レンタサイクル事業	33		
	小計	33		
	計		206	
4	住民団体・サポーター事業			
	サポーターおもてなし事業	450		2,190 人
	サポーター連携事業	50		
	計		500	
5	通勤等での利用促進事業			
	電車通勤モニター事業	250		3,650 人
	計		250	
6	意識啓発事業			
	意識啓発事業	345		-
	沿線住民電車利用モニター事業	145		
	情報発信事業	997		
	モビリティ・マネジメント事業	270		
	計		1,757	
	合計		5,614	63,840 人

3. 名鉄広見線活性化計画への取り組み状況（平成 22 年 5 月末現在）

(1) 活性化計画への主な取り組み状況

1. 学校教育関係の組織を主体とする利用促進事業

1) 遠足、社会見学等における利用

可児市立広見小学校 2 年生 143 人（5/19 遠足：花フェスタ記念公園）新可児駅～明智駅
御嵩町立伏見小学校 3・4 年生 110 人（4/30 遠足：みたけの森）明智駅～御嵩駅

2. 経済団体を主体とする利用促進事業

1) まちづくり等との連携

「みたけの森 ささゆりまつり」 広見線利用の来場者に特典付与

2) 広見線そのものの魅力の向上施策の展開による利用促進

名鉄広報誌 Wind 5 月号による新可児駅及び御嵩駅周辺特集
御嵩駅周辺店舗で利用できる割引券配布実績 393 枚

「名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）利用運賃補助金交付要綱」の制定
運賃補助の対象団体

- ・学校団体：可児市、御嵩町、八百津町にある保育園、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校の行事として利用する団体
- ・一般団体：名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）を利用された10名以上の団体。
補助率（対象区間内の正規運賃に対する補助率）
- ・学校団体：4割補助
- ・一般団体：3割補助

名鉄の団体割引制度との併用可

種類	25人 以上	50人 以上	100人 以上	200人 以上	300人 以上	無賃扱人員
学生団体 中学校	3割	3割5分	4割	4割5分	5割	50人以内はうち1人、 51人でうち2人となり
その他の学校	2割	2割5分	3割	3割5分	4割	以上50人を増すごと にうち1人加える
普通団体	1割	1割5分	2割	2割5分	3割	

6. 意識啓発事業

ニュースレターの発行（平成 22 年 5 月創刊 毎月発行）

広見線の利用促進が一層身近になるよう現状や取り組みなど、詳しい情報を地域住民にお知らせしていきます。